

ぎょくとうまち

熊本県玉東町 新規就農者 紹介

○

さん (37歳)

就農地	玉名郡玉東町
経営作物	ミニトマト
経営規模	22a
経営開始年	令和元年



就農のきっかけ

幼い頃から農業をしたいという夢がありましたが、高齢化による後継者不足、遊休地が増加していると話を聞き、自分も農業を始めて貢献したいという思いが強くなったのがきっかけです。

農業の魅力

退職後、熊本県農業大学に研修生として入学し、農業基礎から学びました。作物の育て方、農業及び機械の点検と使用方法、農業経営等を学び農業に関する知識を得ることが出来ました。

知識を生かし安全安心の作物を消費者に提供し食べて貰い喜んでもらうことに強い魅力を感じます。

各種支援制度を紹介します

玉名市、玉東町、和水町、南関町では、新規就農を目指す方をサポートします。
まずはご相談ください。



就農を目指す皆さんへ

独立就農を始めるにあたって必要なもの

① 就農計画

就農形態、栽培する作物、投資のための資金調達の方法など、具体的な計画づくりが重要。

③ 機械・施設(資金)

作業効率化のための機械や、作物毎に専用の施設（ハウス等）が必要

② 栽培技術

農家になるためには、作物栽培や家畜飼養のノウハウ(技術)習得が必要

④ 農地

農業の基礎は農地。農地を取得・借入するには農業委員会の許可が必要です。

○住居

農繁期は早朝から深夜まで長時間労働もザラ。円滑に農業ができる住居確保が必要



玉名で夢をかなえる

取材日(令和7年1月31日)